

請 願 第 2 号

請 願 書

紹 介 議 員

深 田 昇

通学路等のさらなる安全対策に関する請願

沼津市立沼津高等学校・中部は、令和6年度、高校生 600 名、中部生 239 名の生徒が在籍し、「あすへのゆめをみつけ あゆみ続ける」という教育ビジョンのもと、さまざまな進路に向かって、家族、先生をはじめとする教育関係者や県や市の職員の皆様、沼津市議会議員の皆様、地域の皆様など多くの方々にあたたかく見守っていただきながら、日々学習等に励んでいます。

私たち生徒は、毎日の通学には、自転車、徒歩、バスなどを利用し、授業の後には、部活動にも参加し、下校する時間はおおむね 18 時ごろの生徒が多く高校生の完全下校は 20 時となっています。また、児童・生徒の中には、下校後塾に通う者も多数います。秋から冬にかけては、日没が早くなり 12 月に入ると 17 時にはすでに真っ暗になります。

通学のメインとなる学園通りは、複数の高校があり、多くの生徒が通学に使用していますが、自転車横断帯や街路灯を整備していただいていることから、交通量は多いものの事故もほとんどなく安全に通学できています。また、駅周辺には無料駐輪場も設置していただき、たいへん感謝しています。

このようなハード面の充実をしていただいていることとあわせ、学校では PTA 健全育成委員会による交通安全指導を年3回行っていること、学園通りにある高等学校の教諭や生徒が街頭に立ち啓発を行っていること、自治会や保護者の皆さんなどによる登校時の見守りが行われていることなど、ソフト面での対策も行われているところです。

しかしながら、その学園通りから東西に走る道路に入ると、街路灯、防犯灯の設置数が減る道路が多く、この暗い道路上において、学校近隣でも本校生徒が不審者と遭遇するなどの事案が毎年2～3件発生しています。

私たちは暗い中、危険に注意を払いながら、できる限り大通りを利用して帰宅の途についていますが、静岡県警察のホームページでは多数の声かけ事案等の情報が掲載されていました。

こうしたことから、市内の児童・生徒が安心して通学や通塾ができ、地域住民の皆様が安心して暮らせる、市内全域でのさらなる安全対策が必要と考えています。

現在、沼津市では、地元自治会の皆様が沼津市からの補助を受け、歩道等に防犯灯を設置していただいていることは承知していますが、児童・生徒はもちろんのこと、地域の皆様の安全を確保する上でも、市内全域の通学路等のさらなる安全対策の拡充が必要と考えています。私たちが安心して通学・通塾でき、地域住民の皆様が安心して暮らせる対策のご検討をお願いいたします。

1 ハード面での対策

- ・静岡県警察が公表する声かけ事案発生マップに基づく防犯灯増設の検討
- ・停電時でも使うことのできるソーラー式防犯灯の導入促進
- ・自治会の負担減につながる防犯灯設置費などへの補助制度拡充(補助額や補助率など)

2 ソフト面での対策

- ・警察等によるパトロールや地域等による見守り・声かけの強化
- ・防犯や交通事故の抑止の面から一人での下校を避けるよう、市内小・中・高等学校の教師等からの指導と児童・生徒同士の声かけを推進
- ・防犯ブザーや反射材着用などの啓発
- ・ランドセルやリュックサックなどの使用が事故の際、自分自身の身体的被害の軽減を見込めることを呼びかけ
- ・防犯灯を補う自治会等への住宅の門灯・玄関灯点灯のお願い

令和7年1月28日

請願者

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]